

咬合性外傷の診査・診断と安全な咬合の製作法

ご案内



臨床の成功には多くの人が関わっており、歯科医一人の力では出来ませんし、ただ分業すれば成功するものでもありません。歯周疾患と思われる病態は正しい治療がおこなわれていません。炎症と咬合性外傷を区別することのできないような状態では、歯科医にとっても治療は難しいし、歯科衛生士は口腔衛生指導や生活指導をしていけば治ると思い込んでいるし、その後の補綴では歯科技工士は技工指示書に、具体的な咬合性外傷防止策の指標が何も書かれていないのが実態です。

歯周疾患は動揺を伴って、支持組織を失っていきます。動揺のないこともあります。患者さんを継続的に観察していくと動揺のなかった歯が急激に動揺し始めたり、ポケットが急激に深くなったりします。この歯周組織の不可逆的な変化を早期に見抜かない限り、補綴の成功はありません。歯科衛生士が歯根膜の守り神であるとしたら、歯根膜を失う原因は、急激に発生する急性発作か、緩徐に進行する咬合性外傷であることに気づき、早期の対処をチームで取り組まなくてはなりません。

歯科技工士は、歯に加わる咬合性外傷の力学に対して、適正な方法で外傷から逃れる補綴物を製作しなくてはなりません。咬合の力学は、垂直圧だけで計算して対処する方法論では大きな限界があります。最も避けるべき咬合は、患者の咬合力が増大したり、クレンチングを発生させるような咬合です。歯科技工士も臨床から来た模型を分析し、いかなることがあっても望ましい咬合を作ることのできない実態があると思います。この限界点は是非歯科医の先生方に理解して欲しいものです。

マウスプレパレーションとは古い単語ですが、この目的は、支台歯の保護と補綴物との調和です。残存歯だけで最終的な咬合平衡が完成出来れば良いのですが、実際には咬合平衡の鍵となる歯が失われていることや、咬合面形態が不十分な為に、異常機能が発生してしまいます。歯科医は目的とする咬合を達成するために、歯科技工士に適正な咬合の示された 技工指示書で指示をして、最終的には歯科衛生士に文句を言わせないだけの咬合性外傷の減少に努める必要があります。

丸研とは

丸研とは、現代の歯科医学に対して、本当の知識と技術の限界を極める場所です。歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士、全ての歯科関係者は、歯の価値を認め、歯を保存するために必要な技術と知識を学ぶ場所です。今回は名古屋で開催致しますので、中部丸研と言います。

丸茂は、大学病院の補綴科で補綴の専門知識と技術を修練し、附属病院で約30年にわたる顎関節症と異常補綴に対する対処をおこなってきました。主訴が解決されない限り患者さんは帰りません。成書や論文だけでなく海外の情報を直接入手しても解決できない多くの点がありました。

患者さんが治らない時に、術者としての丸茂の手技が未熟であるために治らないのか、それとも頼りにした技術の根拠となる理論自体に欠陥があるのか、様々悩んでしまいました。そこで、理論的な欠点を徹底的に解析し、技術的欠点を徹底的に排除した結果、素晴らしい結果が出てきました。

海外崇拜の流れの中で、本当に日本人が求めている補綴や咬合の考え方。そして、咬合をベースとした歯周疾患に対する咬合性外傷の考え方をどんどん突き詰めてみました。また、咬合では歯科技工に対する究極の再現性を求めて理論を実践する方法を考えて見ました。

多くの人々が、理想的な咬合が作れないと言って、妥協に流れ、職業のプライドを失い、歯科臨床に限界を感じているのではないのでしょうか。本当の臨床は、やはり術者としての人間の技量と力量です。いかに腕を磨き、頭を研ぎ澄ましていかななくては本当の臨床はやってきません。患者さんは歯科臨床の本当の技術を求めている筈です。歯科医が妥協している姿など、誰も求めていません。本当に前向きな姿こそ、足りなくても赦されるのではないのでしょうか。本物を求める諸君が学習し、鍛錬する場所は丸研しかありません。

講師略歴

- 1980年 日本歯科大学卒業、日本歯科大学大学院歯学研究科補綴学専攻
- 1984年 歯学博士取得、日本歯科大学補綴学第二講座助手
- 1988年 日本歯科大学補綴学教室講師
- 2001年 日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター初代センター長
- 2004年 日本歯科大学附属病院助教授
- 2005年 日本歯科大学東京短期大学教授・歯科技工学科学科長
- 2010年 日本歯科大学名誉教授

演者はLindhe臨床歯周病学とインプラント(初版～第4版)の翻訳担当で、治療計画・咬合性外傷・歯周補綴(咬合治療)を担当し、S.Nyman先生の咬合と補綴に対する考え方と手技を深く学んでいる。歯周補綴とインプラントにおける咬合の実際をイェテボリ大学で学んで来た。また、補綴の専門医・指導医また、顎関節症治療では約30年にわたり大学病院で専門医治療を全身との関わりの中で、あるいは咬合との関わりの中でおこなってきており、咬合と顎位と顎機能と補綴と歯周治療のエキスパートである。

第1回 2011年5月28日(土) 10:00～16:00 定員350名

愛知県産業労働センター(ウインク愛知) 小ホール

第2回 2011年6月18日(土) 10:00～16:00 定員400名

名古屋国際会議場『レセプションホール』

事前登録参加費(二回コース合計です)

歯科医師: 20,000円

歯科技工士: 12,000円

歯科衛生士: 12,000円

【当日は24,000円/15,000円/15,000円】

振込手数料は各自でご負担下さい。

下記の通り、振込人名義と内訳を必ずご連絡ください。

メール申込み・問い合わせ先: 丸茂研修会 maruken@tokyo.nifty.jp

受講申込み書 FAX : 03-5916-5013 (愛知学院ポストグラデュエートコースと間違えないで下さい。)

【振込先】 楽天銀行 オペラ支店(205) 口座4270170 ナカタケンジ(振込は必ず参加者名でお願いします。)

【振込金額】 合計 円(内訳 歯科医 名 技工士 名 衛生士 名)

【代表者氏名・振込名義人】 【出身校】

【同行者氏名・資格】

【住所】

【電話番号】

【FAX】

【勤務先】 【ご紹介者】 近藤 太

【代表者メールアドレス】 @

①ファックスで申込み、②メールでも申し込み、③指定の銀行口座に振り込みの三点で完了します。

講演内容(講演途中に適宜休憩をとります。昼食・お茶は各自でお願いします。)

5月28日(土)

10:00 ~ 16:00

歯周疾患の病態

歯周疾患の原因別分類

咬合性外傷とは

咬合性外傷の原因

不良咬合を喝破する

模型から読む咬合性外傷

レントゲンの読影

理想咬合の夢と破滅

6月18日(土)

10:00 ~ 16:00

咬合性外傷の病態

咬合性外傷の原因別分類

炎症とは

炎症の原因

炎症を喝破する

模型から読む炎症

歯を失わない為の咬合

総括

推薦文(名古屋 仲田憲司先生)

咬合の素朴な疑問、たとえば、大臼歯の役割は一般的に“すりつぶす歯”と言われていますが、歯科臨床において、犬歯誘導という、側方運動時、臼歯が離開する咬合様式で、その『すりつぶす』という機能が果たせるのか？上顎前歯の歯根膜の感覚受容器とアンテリアガイダンスにより、臼歯を咬合性外傷から保護するというは本当なのか？など日常臨床にまつわる咬合の神髄を、咬合学の変遷、また人類の進化の面からも語っていただきたいと思います。

翌日の日曜日に開催される愛知学院大学歯学部ポストグラデュエートコースとともに非常に楽しみにしております。

★受講案内

今回は二日間を通しての内容になりますので、一日だけの受講はお受けしておりません。また、受講者の都合でどちらかの日のみの受講になっても受講料の割引等はお受けしておりません。ただし会場に余裕がありますので、6月のみの受講希望の方は事務局にメールでご連絡下さい。講演中は録音はかまいませんが、ビデオ・デジカメ等の画像記録は静止画像・動画のいずれも一切お断り申し上げます。講演途中でご質問頂いてもかまいませんが、事前に講演してもらいたい内容の希望がありましたら、事務局までご連絡をお願いします。

★申込み・支払い方法

申込み書を指定の①ファックス番号に送付し、②メールでもお申し込み下さい。また受講料は③指定の銀行口座にお振り込み下さい。入金をもって受講申込み完了と致します。銀行振込の場合は領収書を発行致しませんので、必要な場合はご連絡下さい。

メールにはお手数ですが、お申し込み代表者氏名(職種)・同時申込者氏名(職種別)・代表者住所・電話番号・代表者メールアドレス等の記載をお願い致します。受講者(代表者)の方にお申し込み分の方々の受講票をお送りします。

★丸研(通常研修)の受講希望について

今回の講習会は学術的内容ですが、実際の手技と臨床的な技量の修練は東京の研修会場で行っています。基礎コース・アドバンスコース・臨床コース等の研修会のご案内が必要な方はご連絡下さい。

★個人情報のお取り扱いについて

ご記入いただく内容は、お申込をいただいた講演会参加に係る書類等の送付、およびそれらに関するご案内に利用いたします。また今後の丸研の講演会のご案内等に利用致します。※情報の訂正、追加、削除のご希望がある場合、その後のご案内が不要な場合はご連絡ください。

2011年5月28日(土) 10:00~16:00

WINC HALL

愛知県産業労働センター(ウイंक愛知) 小ホール
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
<http://www.winc-aichi.jp/>



電車をご利用の場合

- (JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より徒歩約2分
- JR(東海道新幹線)をご利用の場合
 - ◎東京…約97分
 - ◎新大阪…約51分

飛行機をご利用の場合

中部国際空港(セントレア)…約28分
(名鉄空港特急利用)

※名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。また、時間帯により多少異なります。

2011年6月18日(土) 10:00~16:00

名古屋国際会議場
NAGOYA CONGRESS CENTER

名古屋国際会議場『レセプションホール』
名古屋市熱田区熱田西町1番1号
<http://www.nagoya-congress-center.jp/>



名古屋駅から (所要時間約20分)

